

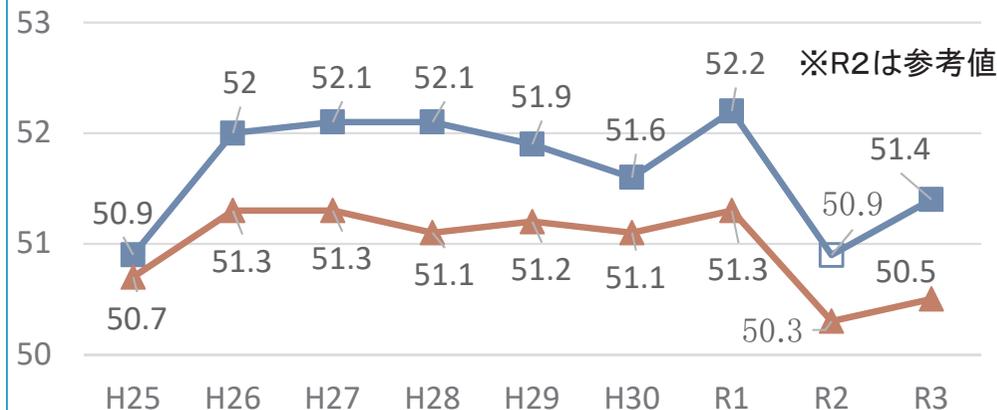
※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

## 結果のポイント

### 1 偏差値の経年変化

■ 知識 ▲ 活用

※R2は参考値



○知識と活用ともに偏差値50を上回っている。

### 2 観点別の結果

観 点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	72.4	69.8	71.6
思考・判断・表現	56.0	54.0	56.3
主体的に学習に取り組む態度	58.3	55.9	57.0

○ 全ての観点において、全国正答率を上回っている。  
▲「思考・判断・表現」において、目標値を0.3P下回っている。

### 3 領域別の結果

領 域	県正答率	全国正答率	目標値
物質・エネルギー	55.0	53.2	56.3
生命・地球	73.5	70.5	71.6

○全ての領域において、全国正答率を上回っている。  
▲「物質・エネルギー」において、目標値を1.3P下回っている。

### 4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	64.9	63.2	65.3
短答	66.9	63.7	66.4
記述	56.4	53.6	53.8

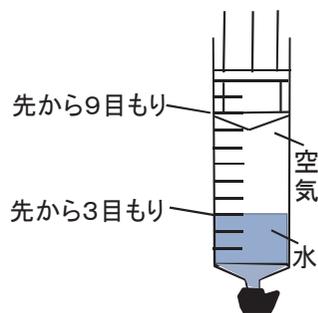
○全ての解答形式において、全国正答率を上回っている。  
▲「選択」において、目標値を0.4P下回っている。

## つまずきが見られた問題

大問7(1) 県正答率33.4% 県無解答率1.7%

★小学校4年「とじこめた空気や水」

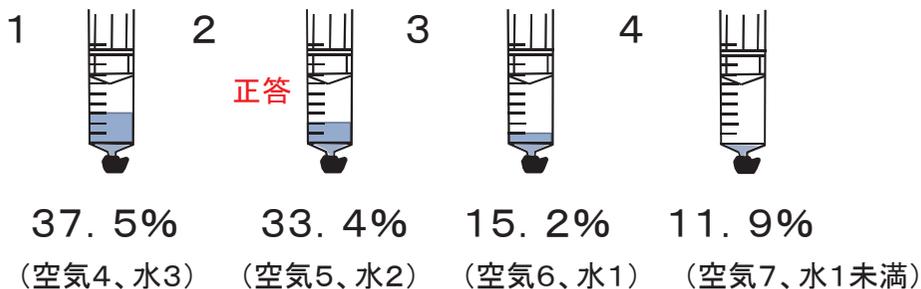
【実験】右の図でピストンを真上から2目もり分押し下げた時の空気と水の体積がどのようになるか調べた。



【予想】 水も空気も同じように体積が小さくなる。(さとしさんの予想)

【結果】 空気の体積は4目もり分、水の体積は3目もり分になった。

問題 さとしさんの予想が正しければ、空気と水の体積はどのようになると考えられるか。



- ・さとしさんの予想について聞かれているが、誤答である選択肢1を解答している児童が多い。さとしさんの予想に対してではなく、実験結果を選んでいる。
- ・実験内容の理解が十分でない。

## ◆ 指導のポイント

- ◆ 問題解決の学習活動を充実させる。  
特に予想や仮説の設定、検証計画の立案の場面の指導を充実させる。

## ★ 指導の具体例

○ 児童が見いだした問題に対して、予想や仮説をもたせる。

【例】 「とじこめた空気に加えたときのことや、水で遊んだときのことを思い出して、予想してみよう。」 「なぜそのように予想したかも発表しよう。」

○ どのような実験器具等を用いて、どのように調べればよいか考えさせる。これまで行った実験方法を思い出させたり、使用する実験器具等の一部を知らせたりする。

【例】 「どのようにしたら調べられるかな？ とじこめた空気について調べたときは、・・・。」

○ 予想どおりであれば、結果はどうかを考えさせ、表現させる。

【例】 「この実験方法でどのような結果が出たらどんなことが言えるかな？」 「ピストンを押してどのような結果が出たら・・・。」

### 問題解決の過程(例)

